



有機農業研修を受ける女性たち

South Asian Network for Social and Agricultural Development (SANSAD)

インド・ウッタール・プラデーシュ州における 気候に配慮した持続可能な農法の採用による、 少数派コミュニティの食料安全保障強化活動

一般助成

3年目

知識の提供・
普及啓発

有機農業研修 1,000人

有機農業先進地域への
視察研修

1回

活動の全体目標に
対する達成度

100%

課題

化学肥料や殺虫剤の大量使用により農業コストが上昇した一方、土地の疲弊によって収益が頭打ちになっているインドの農民は疲弊し食料状況が悪化している。

目標

- 主要作物の栽培コストが15～20%減少して農民の支出が減り家計が改善される。
- 主要作物の生産性が10～15%増加して食料の供給状況が改善される。

活動内容

●有機農業啓発のための壁画スローガン(計1,440か所)、リーフレット配布(81,000部)、ラリー実施(計4回) ●年次農業者会議を計4回開催、計約2,070名が参加。●有機農業研修(座学・実習)を実施し、約400人の農民が参加。●有機農業先進地域の視察研修を計2回実施、計35名の農民が参加。●関連行政、地元NGO、研究者と関係強化を図り、2年目から年次農業者会議開催は地方行政との共催となった。



自家消費用に有機農業を開始

達成できなかったこと

農業者会議を2、3年目ともに地方選挙、悪天候によって予定回数を開催できなかった。また、3年目の参加者数は目標人数に達しなかった。広報不足が原因と思われる。

今後の展望

有機農業産品のマーケティングの拡大を図っていく。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・主要作物の栽培コストが30～40%減少して対象地域の農民の支出が減り家計が改善した。
- ・主要作物の生産性が50～60%増加して対象地域の食料の供給状況が改善した。

工夫

当初、農業研修を農業の実質的担い手の女性対象に設定したが、家庭の決定権を持つ男性も対象に変更した。